

式 辞

神戸大学学術情報基盤センター長 富田佳宏

本日は、文部科学省研究振興局御代表をはじめ多くの御来賓のご列席を賜り、神戸大学学術情報基盤センター設置記念式典を挙行できますことは、この上ない喜びで御座います。

神戸大学学術情報基盤センターは、昭和39年4月計算センターの発足により出発致しました。その後、昭和57年4月の神戸大学総合情報処理センター設置、同58年2月の総合情報処理センター本館完成、同5月大学間ネットワーク加入、同63年12月学術情報ネットワーク加入、平成4年4月SINET加入、同6年3月学内LAN基盤整備完成、同9年4月全学生に電子メール用ID配布等を行い、学内の学術情報化の要として、教育・研究の充実・発展に寄与してまいりました。

その後、大学・社会の情報化が急速に進展し、ネットワークをはじめとする情報技術は大学の教育研究において不可欠な基盤技術となり、高度な情報技術の利用可能なインフラの整備が教育研究の発展を支配すると言っても過言ではありません。このような、めざましい情報科学の進展とそれに伴う広範な計算機利用に呼応して、神戸大学における教育研究活動の情報化支援とそのため情報基盤の整備・運用を行い、神戸大学情報化戦略の中核として、情報教育のあり方を研究し、安全で強力な情報化サービスの提供についての企画・検討を進める機関の設置が強く要請されました。文部科学省のご理解、内外の多くの方々の強い御支援により、平成15年4月に総合情報処理センターを拡大改組し、このような重要な責務を果たすことを使命とする、神戸大学学術情報基盤センターを設置することができました。

本センターは内外の強い要請を反映した、教育用計算機システムの整備と運用管理を行う「教育支援基盤研究部門」、研究用計算機システムの整備と運用管理を行う「学術情報処理研究部門」、およびネットワークシステムの整備と運用管理を行う「ネットワーク基盤研究部門」の3研究部門を擁しております。

さらに、本年10月に神戸商船大学との統合によって、名実ともに3研究部門、9名の専任教官と事務部からなる神戸大学学術情報基盤センターが発足致しましたので、今日の設置記念式典を開催させて頂くことに致しました。

今後、学術情報基盤センターの研究部門では、セキュリティ維持を含む情報ネットワークの統括設計管理・運営を行うことにより、大学の知的資産の蓄積・流通の支援、遠隔キャンパスにおける共通教育などの効率化・高度化を含む大学の教育研究活動の活性化、学内情報システムの統一的企画・運用・支援を行います。同時に、情報技術の研究開発を行うことにより、実用性の高い研究成果を生み出し、それを学内外に提供することで、神戸大学が目指す「知の拠点の創生」に貢献致します。

そのために神戸大学の統合的「IT戦略」との整合をとりつつ、運用実務担当スタッフの確保

育成に努め、全学的な連携体制をとりその責務を果たす所存であります。

最後になりましたが、本センターの設立に当たり、文部科学省をはじめ、学内外の多くの方々から賜りましたご理解ならびにご支援に対し深く御礼申し上げますとともに、今後、皆様方のご期待に応えるために、センター教職員一同、力を合わせ努力致す所存で御座います。

今後とも、皆様方のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

本日は誠に有難う御座いました。